



2026-06-28

MORNING DISPATCH / Vibe Coder Bootcamp Tech News

🔥 今朝のホットな話題

1. 🔍 米政府、Anthropic「Claude Mythos 5」の輸出ブロックを解除 — 100超の米機関へ提供許可
2. 🔍 DeepSeek、\$7.4B 調達後に「全部門を倍増」する大量採用へ — 商用化シフトと AGI 宣言
3. 🔍 オープンソース・コーディングモデル「Ornith-1.0」公開 — ローカル/低VRAMで実用域

6

トピックを整理。





何が起きた？

米政府が、Anthropic のフロンティアモデル「Claude Mythos 5」に課していた輸出ブロックを解除。主要企業や政府機関を含む100超の『信頼できる米国の機関』への提供を許可した。と Semafor が報じた。約2週間前の輸出管理指令で Anthropic が Fable 5 / Mythos 5 を全顧客向けに無効化した措置の、米国内限定での部分的な巻き戻し。

主な変更点

- 約2週間前、輸出管理指令により Claude Fable 5 と Mythos 5 を全世界・全外国籍向けに無効化。Project Glasswing で機密システムの脆弱性発見が報じられた直後の文脈。
- 今回の解禁対象は Mythos 5 のみ。範囲は『100超の信頼できる米国機関』に限定。GA や海外提供の再開ではない。
- 同日、OpenAI も GPT-5.6 を『米政府要請で限定プレビュー』として開始。フロンティアモデルの提供が政府ゲートを通る潮流が同時並行で進行。
- NSA・Anthropic は個別コメントを控え、対象機関リストや解禁条件の詳細は未開示。Semafor 単独一次に多数メディアが追随した段階。

なぜ重要？

輸出停止からわずか2週間での部分解禁により、フロンティアAIの提供可否が企業判断だけでなく政府ゲートを通る構図が鮮明に。米国内の信頼機関にはアクセスを戻す一方、海外提供や一般提供は閉じたまま。

Xでの反応

速報系アカウント @MTSlive 1,073 / @wallstengine 201 いいねが『US が Mythos 5 の輸出ブロックを解除、100超の機関へ』と拡散。『方針が二転三転している』と政府対応の一貫性を疑問視する声。

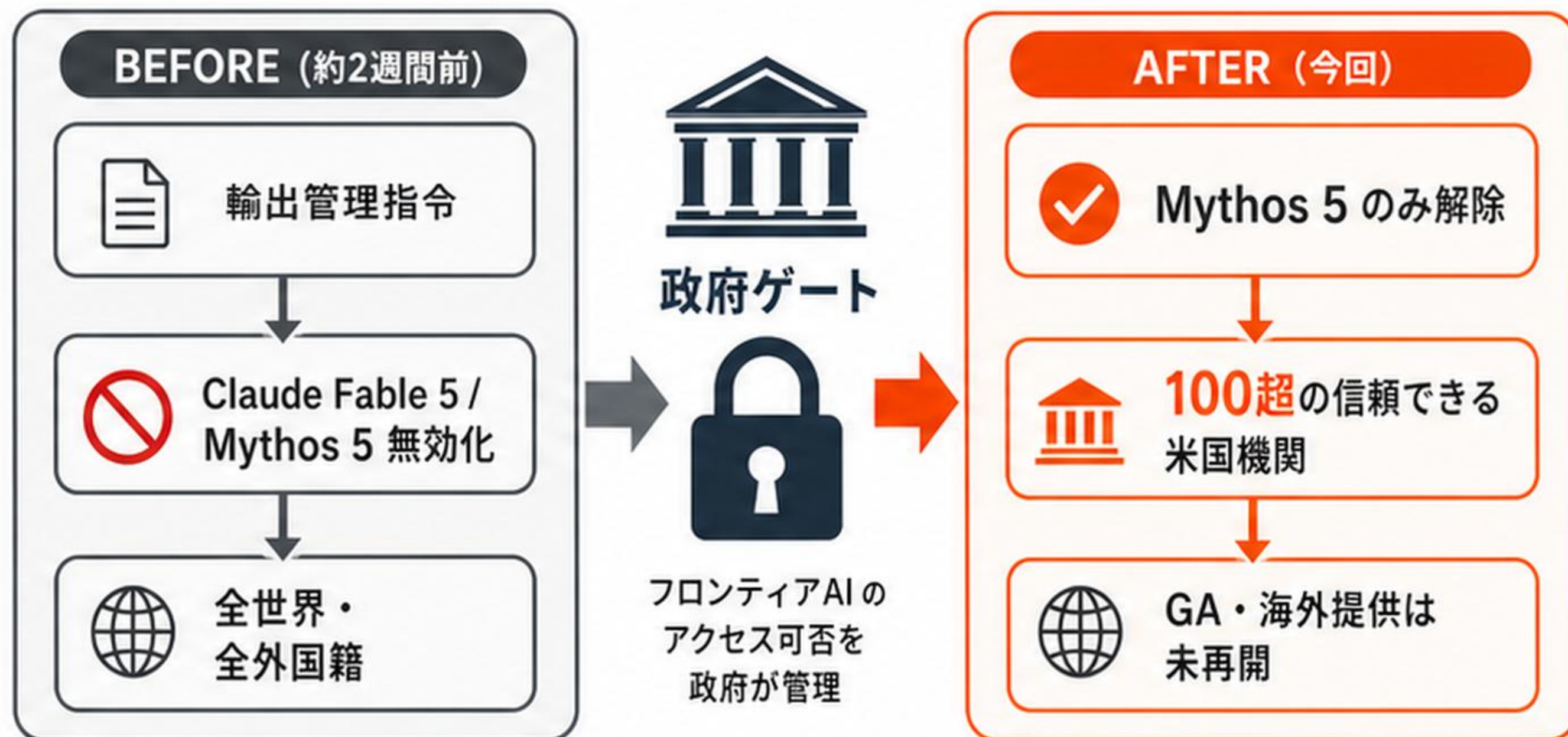


@MTSlive

1,073

@wallstengine

201



信頼できる米国機関

100超

輸出停止からの期間

約2週間

@MTSlive いいね

1,073

@wallstengine いいね

201

並行する潮流



OpenAI GPT-5.6 限定プレビュー



Anthropic Mythos 5 部分解禁



政府要請・政府ゲート

フロンティアモデルの提供が政府要請・政府ゲートを通る潮流が進行

DeepSeek、\$7.4B 調達後に「全部門を倍増」する大量採用へ — 商用化シフトと AGI 宣言



何が起きた？

中国の AI スタートアップ DeepSeek が、初の外部調達 (\$7.4B・評価額 \$50B 超) を原資に『全部門を少なくとも倍増させる』大規模採用に乗り出す。研究偏重から商用化へ軸足を移し、創業者 Liang Wenfeng は『人類は AGI の前夜に立つ』と表明。



主な変更点

- 採用方針: 全部門を少なくとも倍増
- 製品・商用展開を担う人員を拡充
- Liang が約200億元を拠出
- Tencent・CATL が大口出資者
- オープンソースモデル継続
- Anthropic 約\$965B / OpenAI 約\$852B級 と比べ、評価額 \$50B超は小さいが低コスト frontier 級モデルの実績を人材・商用化へ転換



なぜ重要？

新規性は調達ラウンドそのものではなく、採用倍増+商用化シフト+AGI 宣言という事業フェーズ転換。



Xでの反応: @teortaxesTex (86いいね)

『Wenfeng は良いカルチャーの会社を作れる人物』。
一方で『西側の20分の1で本当に人材を倍増できるのか』という疑問も。

研究偏重 → 商用化フェーズ



\$7.4B
調達額

\$50B超
評価額

約200億元
Liang が拠出

Tencent・CATL
大口出資者

86いいね
Xでの反応

“ @teortaxesTex:
良いカルチャーの会社を作れる人物

⚠️ **西側の20分の1?**
本当に人材を倍増できるのか

🔍 何が起きた？

新しいオープンソースのエージェントック・コーディングモデル『Ornith-1.0』ファミリー（35B MoE / 9B など）が公開。ローカル・低VRAM環境での実用性を複数の開発者が高く評価。一方で、ローンチ時のベンチマーク比較の見せ方には批判も。

📌 主な変更点

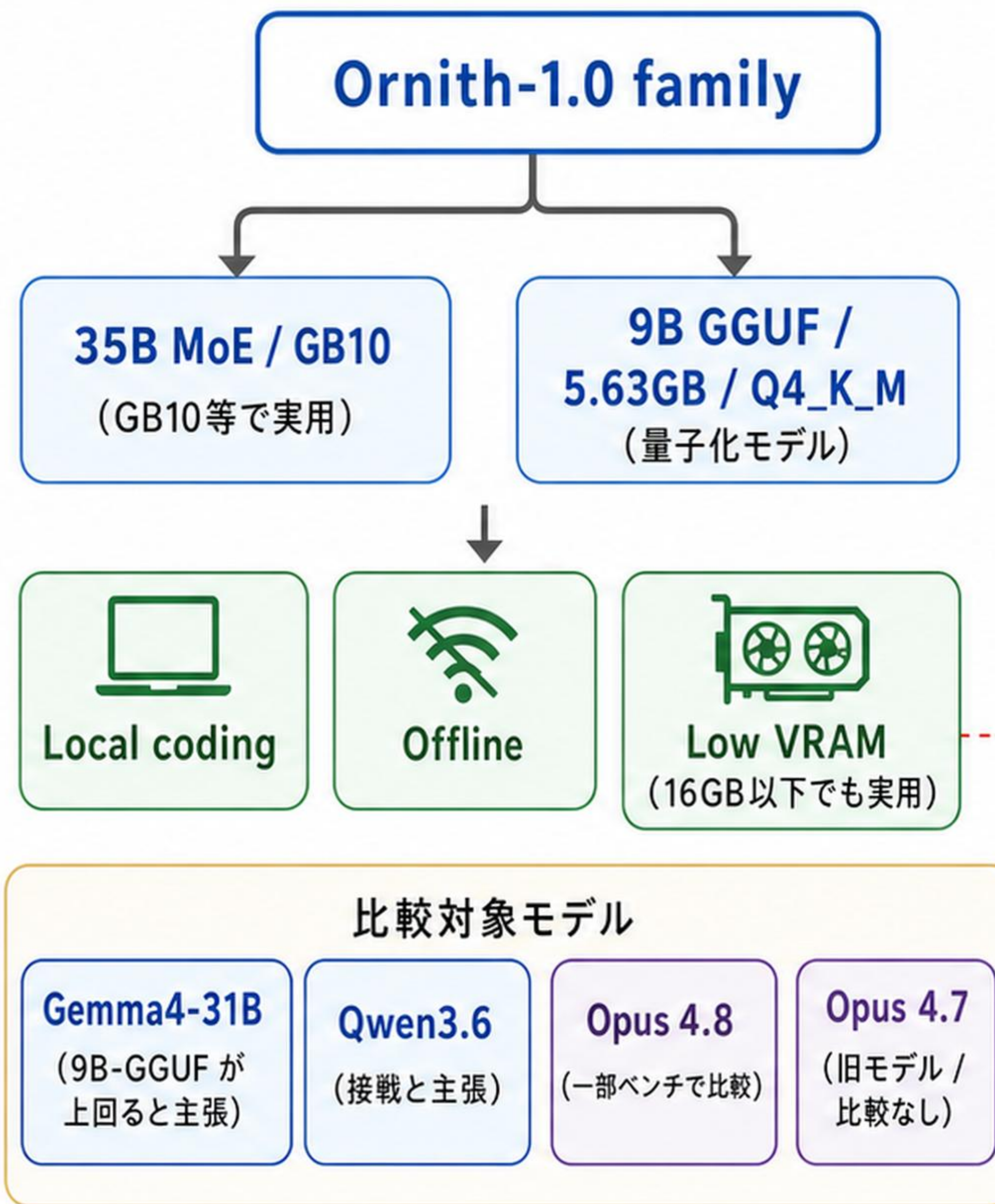
- 35B MoE（GB10等で実用）と9B GGUF量子化（5.63GB, Q4_K_M）
- ローカル・オフライン志向。16GB VRAM以下でも実用との証言
- 『9B-GGUF が Gemma4-31B を上回る』、Qwen3.6系と接戦
- @PawelHuryn: 公開4ベンチのうち1つだけ Opus 4.8 と比較、残りは旧 Opus 4.7 or 比較なし

💡 なぜ重要？

オープンソースでローカル実行できるため、APIのコスト変動や提供制限に依存しない選択肢として評価。ベンチ主張は割り引いて見る必要。

Xでの反応: @DataChaz (73いいね) 『オープンソースが frontier 級のエージェントック・コーディングに急速に追いつきつつある証拠』。

実機VRAM/速度レポートと、ベンチ公平性への突っ込みが相次いだ。



⚠️ Benchmark caveat

- ✓ 4ベンチ中1つのみ Opus 4.8 比較
- ✗ 旧 Opus 4.7 / 比較なし

“ @DataChaz 73いいね

『オープンソースが frontier 級のエージェントック・コーディングに急速に追いつきつつある証拠』

1. 何が起きた？

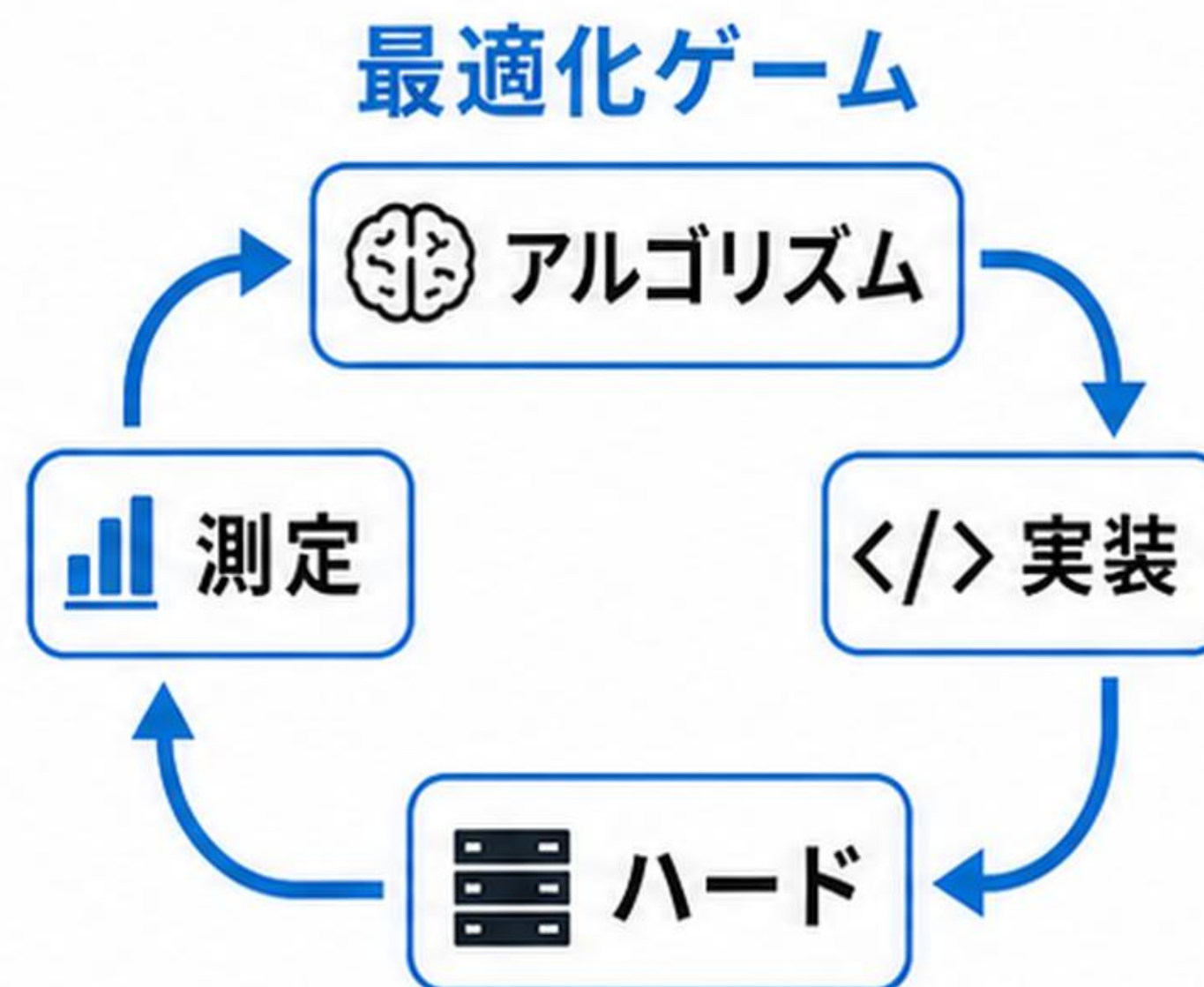
METR の NanoGPT スピードラン (小規模 LLM を一定品質まで学習するのに要する時間を競うベンチ) で、学習時間が 45分から 1.43分へ、2年弱で約31倍に短縮されたと報告。AI インフラ/最適化の進歩スピードを定量化する象徴的なデータ点として共有されている。

2. 主なポイント

- 数値: 学習時間 45分 → 1.43分、2年弱で約31倍の高速化
- 対象は小規模 LLM を一定品質まで学習する speedrun。アルゴリズム・実装・ハードの総合的な最適化の積み重ねを反映
- 『AI が AI 開発自体を速める』再帰的自己改善の周辺指標として位置づけられる
- ⚠️ 特定タスクの speedrun であり、汎用的な学習コスト全般が31倍下がったことを意味するわけではない

3. なぜ重要？

研究者コミュニティでは『31倍』という具体的数字が、漠然と語られがちな“AI が AI を速める”を可視化したとして受け止められた。



⚠️ speedrun 指標
≠
汎用学習コスト全般

@SomaSubnet:
AI インフラは
最適化ゲームに
なりつつある
❤️ 43 いいね

🔦 要点

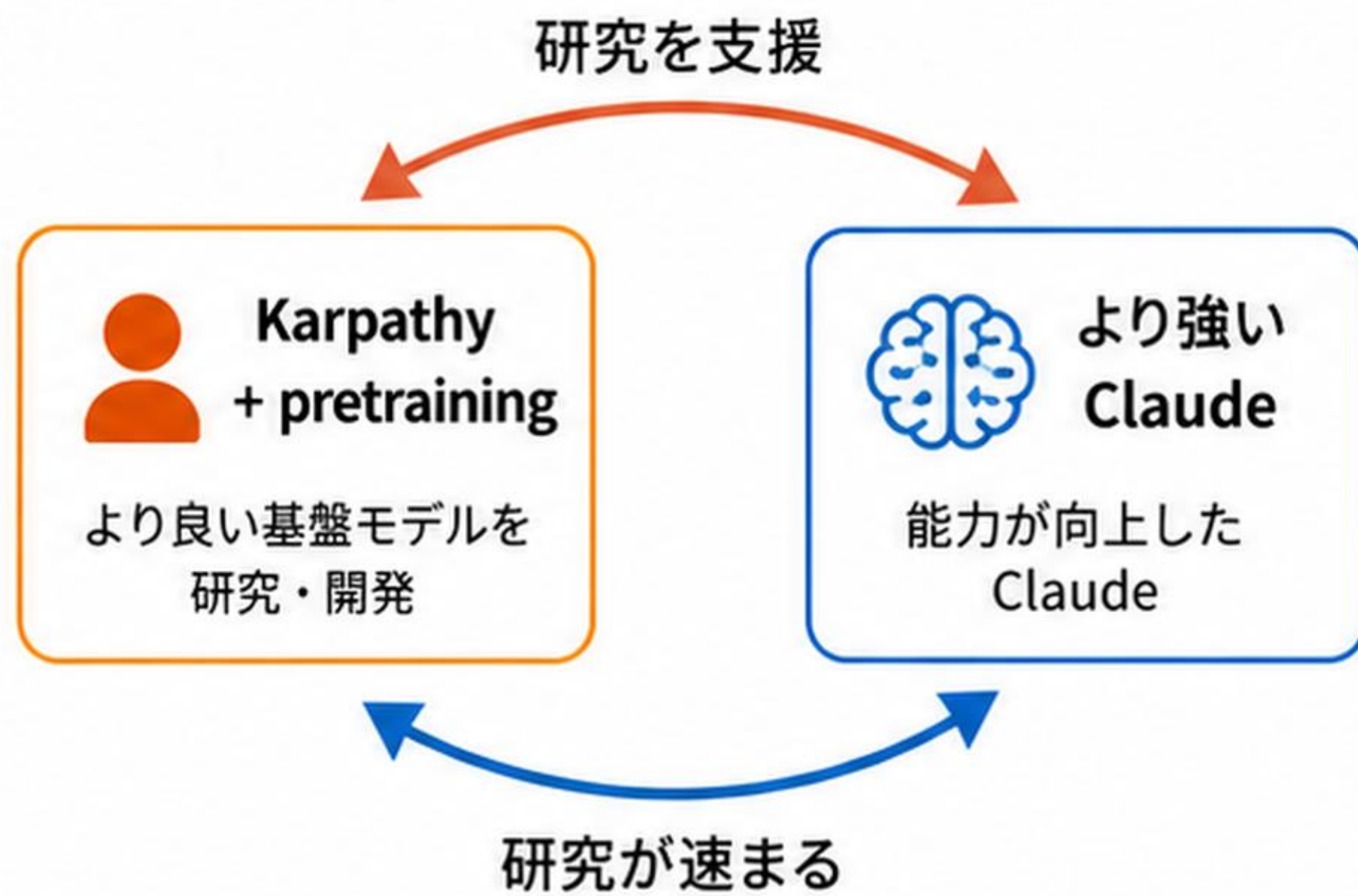
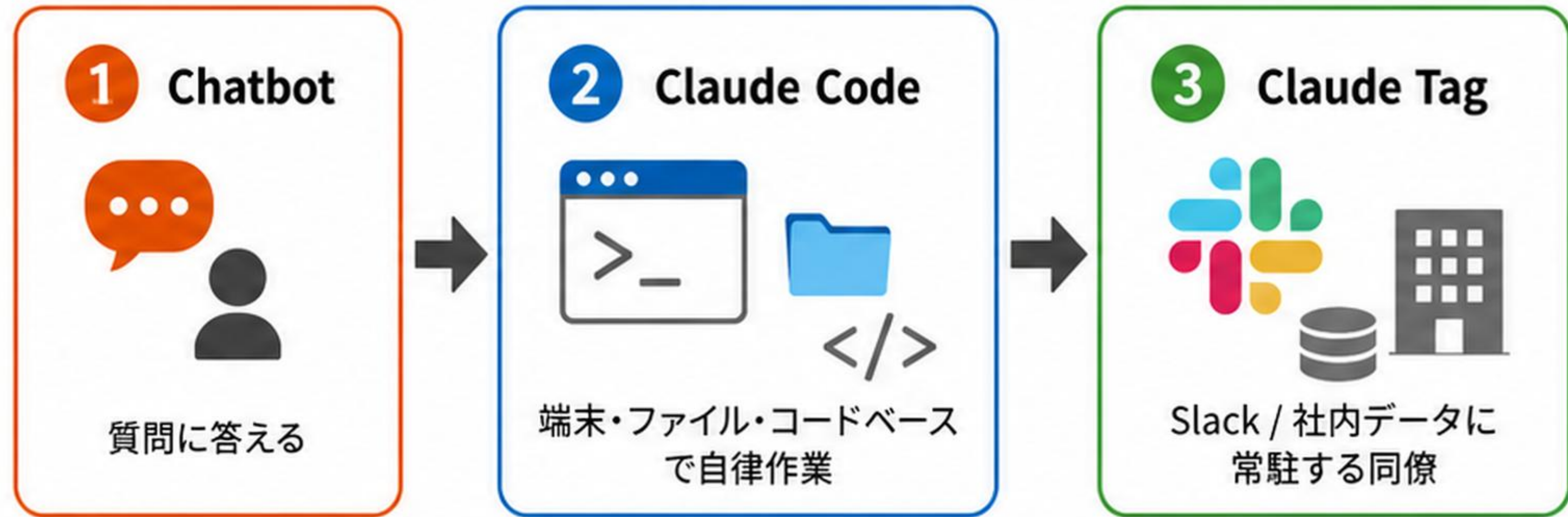
Karpathy の 2026年5月以降の発言を軸に、AI の本当の争点は「どのモデルが賢いか」ではなく「AI をどこに置き、どんな役割を与えるか (Agentic Work) 」に移っている。

🔧 具体的な手法 / 使いどころ

- AI は ①質問に答えるチャットボット → ②ターミナル/ファイル/コードベースで自律的に作業するエージェント (Claude Code) → ③Slack や社内データに常駐する「同僚」へ段階移行
- Karpathy は post-training ではなく pretraining チームに参加 (2026/5/19)
- Claude で pretraining 研究自体を加速する=より強い Claude が研究を支援し研究が速まる再帰ループ
- Claude Tag (2026/6/23 ベータ) の本質は“multiplayer”。同じチャンネルの全員が同じ Claude を共有
- 「vibe coding」の後、本格的な開発概念として「Agentic Engineering」を提唱

🌱 なぜ刺さるか / 学び

仕事が個人の閉じたチャットから共有のチーム活動へ変わる。「モデル性能競争はもう本質ではない」という視点転換が日本語圏でも拡散。Claude Tag を“Ryoko 的な Slack 常駐エージェントの製品化”と見る受け止めも。



Xでの反応:

ブックマーク 273件

10万ビュー



何が起きた？

Sam Altman が GPT-5.6 ファミリーの『Sol』と『Terra』を発表。米政府の要請により、当初予定のオープンアクセスではなく『限定プレビュー』として本日開始。一般提供（GA）に向けて政府と協議を継続。



主な変更点

- Sol = smart/efficient。GPT-5.5 と同価格で大幅な性能向上。
- Terra = GPT-5.5 級の性能を半額で提供する廉価モデル。
- 能力が新水準に達したモデルの段階展開は iterative deployment 戦略に合致。ただし Altman は『これが最適なプロセスとまでは思わない』と留保。
- self-thread で『7月に Sol へ 750 token/sec の高速化が来る』と追加告知。
- 同日に Anthropic の Mythos 5 が米機関向けに部分解禁。政府ゲートの潮流。

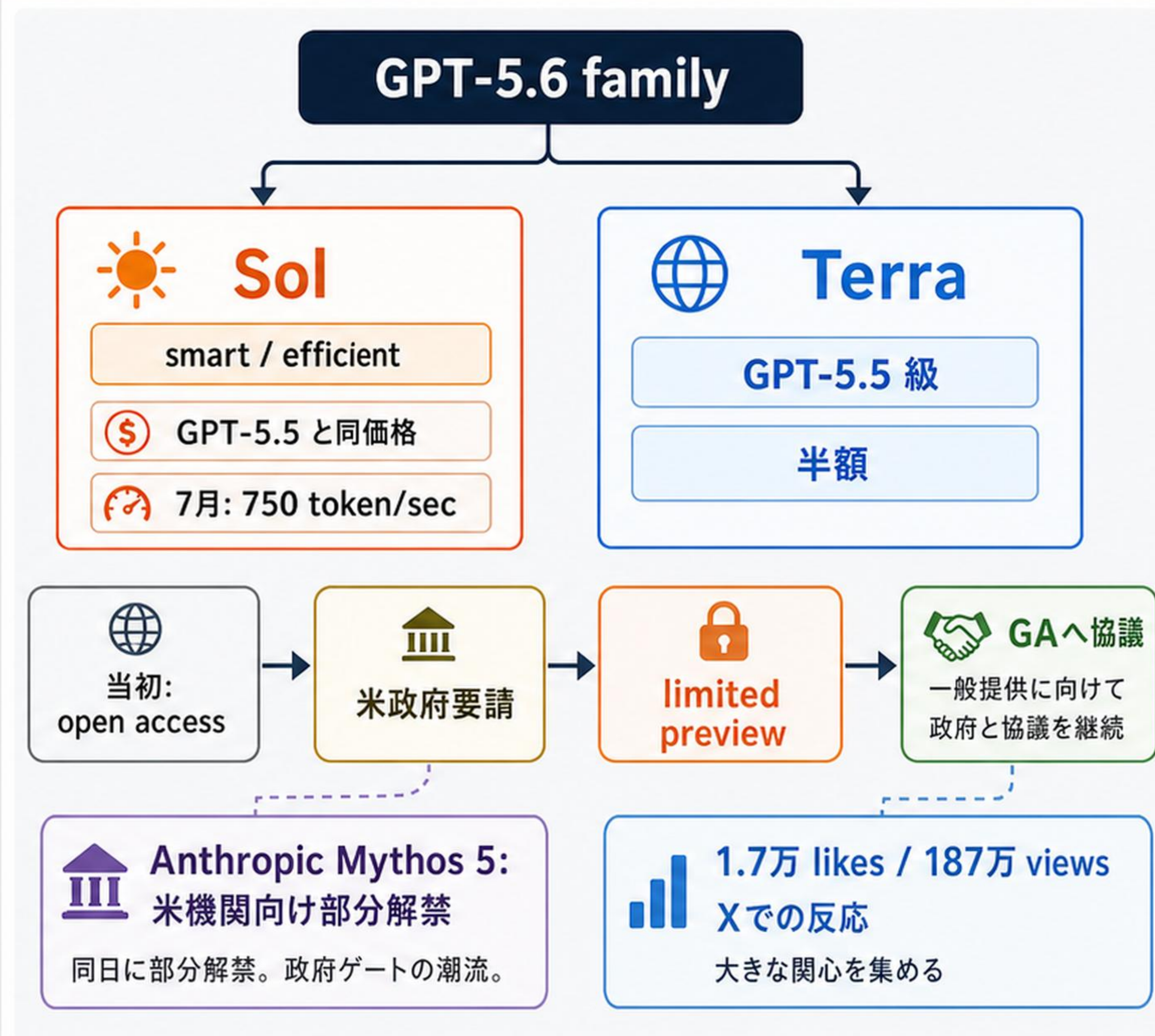


なぜ重要？

『良いニュース』の直後に『政府要請で限定プレビュー』という構成が、規制とモデル提供の綱引きへの関心を集めた。命名（Sol/Terra/Luna）を Anthropic の Opus/Sonnet 流と重ねる反応も多い。



Xでの反応: いいね1.7万・187万ビュー





今日のまとめ

本日のトピック一覧

1  米政府、Anthropic「Claude Mythos 5」の輸出ブロックを解除 — 100超の米機関へ提供許可




米政府



輸出ブロック解除



100超の米機関へ提供許可

2  DeepSeek、\$7.4B 調達後に「全部門を倍増」する大量採用へ — 商用化シフトと AGI 宣言




\$7.4B 調達



全部門を倍増する大量採用へ



商用化シフトと AGI 宣言

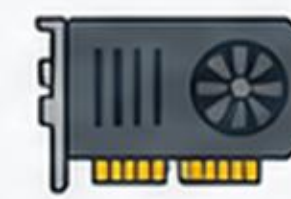
3  オープンソース・コーディングモデル「Ornith-1.0」公開 — ローカル/低VRAMで実用域



オープンソース・コーディングモデル「Ornith-1.0」公開



ローカルで実行



低VRAMで実用域

4  METR の NanoGPT スピードラン、学習時間 45分→1.43分 (2年弱で約31倍)



45分



1.43分



約31倍

5  Karpathy が語る「Claude Code」と Agentic Work の未来 — AI は「同僚」になる



人間 (あなた)




Claude Code



AI (同僚)



Agentic Work

6  OpenAI、GPT-5.6 ファミリー「Sol」と「Terra」を発表 — 米政府要請で限定プレビュー開始



GPT-5.6 ファミリー発表

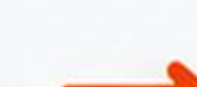


Sol

Terra



米政府要請で



限定プレビュー開始

出典:



OpenAI

/



Anthropic

/



Google

/



DeepSeek

/



METR

/



Karpathy

TEKION Group